

トークネット光アダプタ設定変更マニュアル

(タイプ b4)

1.1 版

TOHKnet

1. はじめに

本マニュアルは、トークネット光アダプタ（マニュアルでは「本装置」と記載します。）の設定変更マニュアルとなります。
本マニュアルに記載のない、その他詳細な設定項目などは、別途公開している取扱説明書をご覧ください。

注意事項

トークネット光アダプタの設定変更を行う場合は、お客様の責任において実施をお願いします。

トークネット光アダプタの設定変更を行う場合は、お客様ご自身で設定ファイルのバックアップを取得してから実施してください。
お客様がバックアップを行わなかったことによる損害については、当社は一切の責任を負いません。

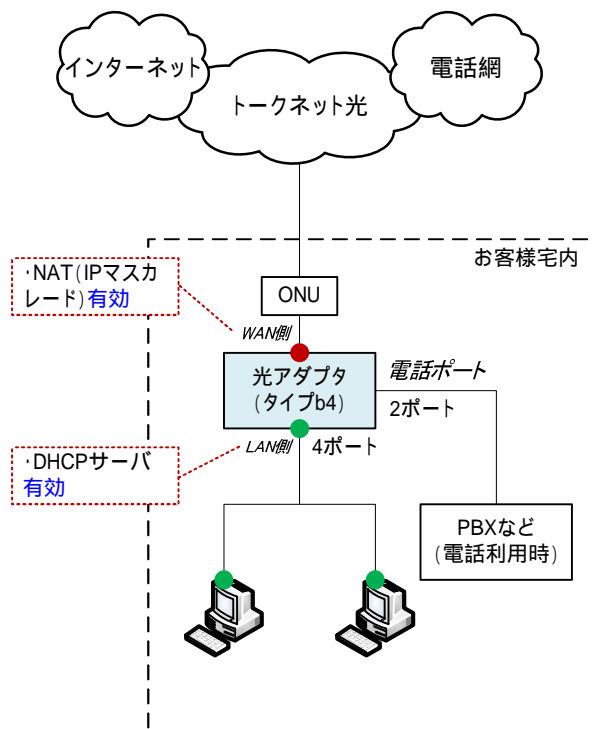
お客様の設定変更により不具合が発生し、トークネット光アダプタの復旧対応を当社にて行う場合は、有料となります。なお、お客様にて設定を行った内容は消去されます。

2018年12月1日以降にお申込みいただいたお客様については、お客様ご自身の設定変更は出来ません。設定変更を希望される場合は、別途当社へ設定変更のお申込みが必要となります。

2. 接続構成について

本装置では、インターネット接続（データ通信）および電話接続（音声通話）が可能であり、トークネット光を利用することで2つの接続を利用することができます。以下に、本装置の接続構成例を示します。

【接続構成例】

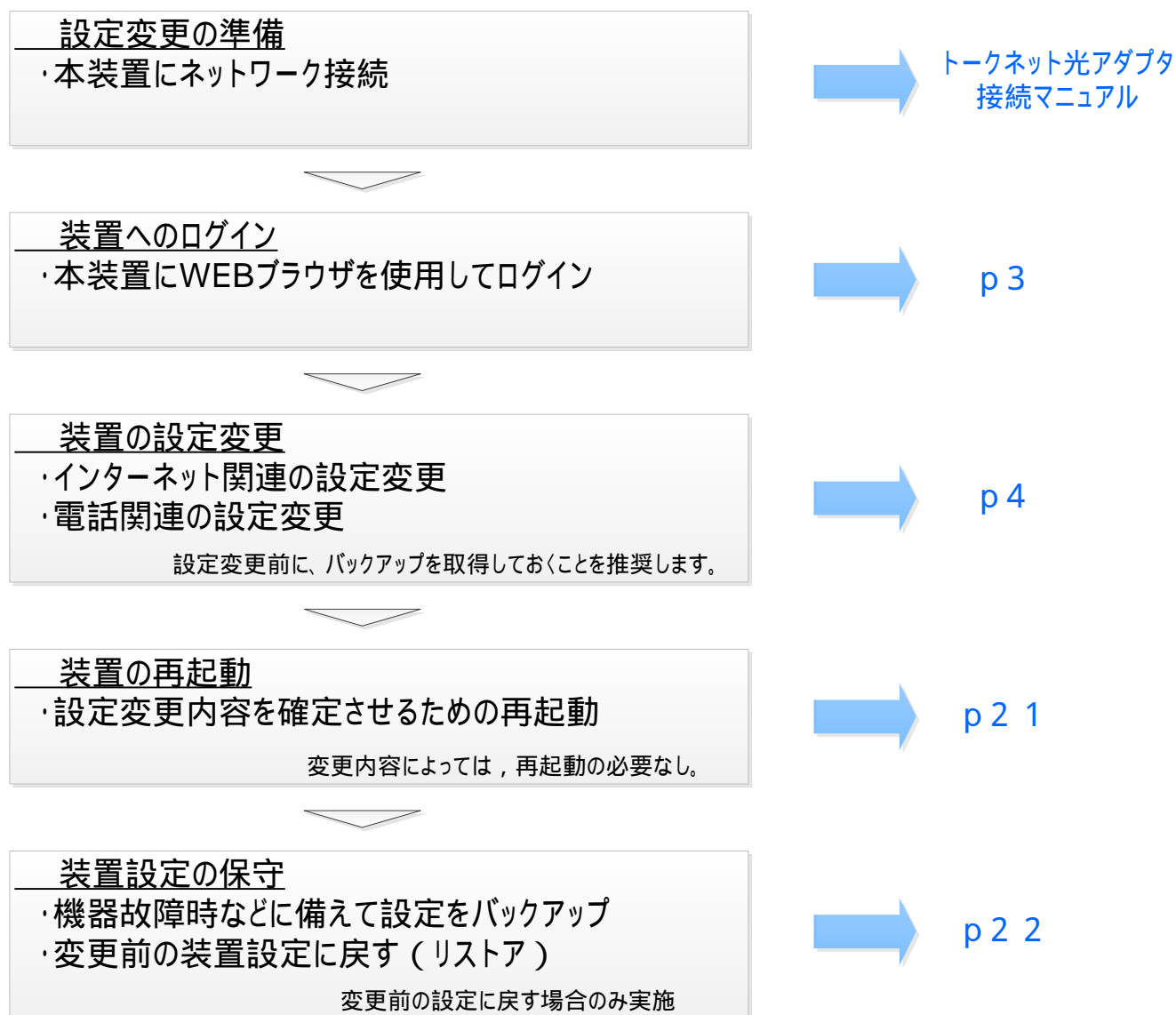


IPアドレスの説明

- グローバルIPアドレス
- プライベートIPアドレス

3 . 設定変更の流れ

本装置の設定変更は、以下の流れで実施します。



4. 装置へのログイン

本装置の設定内容を変更するため、本装置へログインします。

(1)本装置に接続する URL を入力

(2)ユーザー名とパスワードを入力
(開通通知書を参照ください)

(3)OK ボタンをクリック

— トップページ —
MENUを選択してください。

【操作手順】

- (1) 本装置に接続したパソコンにて WEB ブラウザを立ち上げ、以下の URL ページに接続します。
【URL】 http://192.168.0.200 (LAN 側アドレス初期値)
- (2) ログイン認証画面が表示されますので、ユーザ名およびパスワードを入力します。
- (3) OK をクリック後、正しい情報が入力されていれば、設定画面のトップページが表示されます。

5 . 装置の設定変更

本装置の設定変更について、次章以降に変更例を示します。

注意事項

変更内容については、事前に十分検討した後に実施してください。

また、各設定項目の詳細は、別途取扱説明書をご覧ください。

【変更例一覧】

インターネット関連

- ・ LAN 側 IP アドレスを変更するp5
- ・ LAN 側ルーティング設定を変更するp7
- ・ パケットフィルタ設定を変更するp9
- ・ 静的 NAT (IP マスカレード) 設定を変更するp12

電話関連

- ・ ポートの使用状態を変更するp14
- ・ 発信者番号表示機能 (ナンバーディスプレイ) を使用するp16
- ・ 着信ポートを変更するp18
- ・ 音声レベルを調整するp20

5.1 . 装置の設定変更例（インターネット関連）

5.1.1.LAN 側 IP アドレスを変更する

本装置の LAN 側 IP アドレスを変更します。

NT-4e (BRIタイプ)

— MENU — 操作ヘルプ

- トップページ
- 動作モード初期設定

構成情報設定

- ネットワーク設定
 - WAN接続設定
 - **LAN接続設定**
 - ポート設定
 - QoS設定
- URLフィルタ設定
- 静的IPマスカレード設定
- 静的NAT設定
- LAN側ルーティング設定
- 高度な設定

LAN接続設定

トップページ>ネットワーク設定>LAN接続設定

項目名の末尾に(再)の付いた項目を変更した場合、変更内容を有効にするには再起動が必要になります。

LAN側セグメント設定

IPアドレス/マスク長(再)	192.168.0.200 / 24
----------------	--------------------

LAN側セグメント自動払い出し設定

自動払い出し(再)	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない
リース時間(再)	4 時間
払い出し開始IPアドレス(再)	192.168.0.201
払い出し個数(再)	50
WINSサーバアドレス(再)	

(1) 『LAN 接続設定』をクリック

(2) 変更後の『LAN 側 IP アドレス』と『サブネットマスク長』を入力

(3) DHCP の設定も合わせて変更する場合は左記のパラメータも入力

(4) 『設定保存』ボタンをクリック

設定保存 元に戻す

【設定変更手順】

- (1) メニューから、『ネットワーク設定』 『LAN 接続設定』の順にクリックします。
- (2) 「LAN 接続設定」画面が表示されるので、「LAN 側セグメント設定」の各項目に、変更後の「LAN 側 IP アドレス」と「サブネットマスク長」を入力します。
- (3) 合わせて DHCP の設定も変更する場合は「LAN 側セグメント自動払い出し設定」の各項目に値を入力します。
- (4) 全てのパラメータを入力後、『設定保存』ボタンをクリックします。
- (5) 変更内容を反映させるため、本装置を再起動させます。(再起動の操作は、p21『6. 装置の再起動』参照)

【注意事項】

LAN 側 IP アドレスを変更した場合は、再起動後の画面が表示されない可能性があります。変更した IP アドレスに合わせてパソコン側の IP アドレスも変更をお願いします。(DHCP を利用している場合は、ケーブル抜き差しあるいは PC 再起動などで IP アドレス再取得をお願いします。)

【主な設定項目】

・LAN 側セグメント設定

設定項目	説明	初期値
IP アドレス	LAN 側セグメントの IP アドレスを設定する。	192.168.0.200
マスク長	LAN 側セグメントのマスク長を設定する。 設定範囲：8～30	24

・LAN 側セグメント自動払い出し設定

設定項目	説明	初期値
自動払い出し	LAN 側セグメントへの DHCP による自動払い出しの使用/未使用を選択する。	使用する
リース時間	払い出し IP アドレスの貸出時間を設定する。 設定範囲：1～72 (時間)	4 (時間)
払い出し開始 IP アドレス	払い出し IP アドレスの開始アドレスを設定する。	192.168.0.201
払い出し個数	払い出す IP アドレスの個数を設定する。 設定範囲：1～253 (最大値は LAN 側セグメントのマスク長による) IP アドレスの払い出しは、「払い出し開始 IP アドレス」から LAN 側セグメントの最終 IP アドレス-1 (ブロードキャストアドレスを除く) までとなる。	50

5.1.2.LAN 側ルーティング設定を変更する

本装置の LAN 側ルーティング設定を変更します。ルーティング設定は、最大 20 件まで登録できます。

NT-4e (BRIタイプ)

— MENU — 操作ヘルプ

- トップページ
- 動作モード初期設定

構成情報設定

- ネットワーク設定
 - WAN接続設定
 - LAN接続設定
 - ポート設定
 - SPI設定

(1) 『LAN 側ルーティング設定』をクリック

- 静的IPマスクレド設定
- 静的NAT設定
- LAN側ルーティング設定
- 高度な設定

LAN側ルーティング設定
トップページ>ネットワーク設定>LAN側ルーティング設定

IPルーティングテーブルの静的登録ができます。設定を変更または削除するには、[編集]ボタンをクリックしてください。設定を追加するには、空欄の[編集]ボタンをクリックしてください。

(2) 『編集』ボタンをクリック

LAN側ルーティング設定一覧

エントリ番号	宛先IPアドレス/マスク長	ゲートウェイ	
1			<input type="button" value="編集"/>
2			<input type="button" value="編集"/>
3			<input type="button" value="編集"/>
4			<input type="button" value="編集"/>
5			<input type="button" value="編集"/>
6			<input type="button" value="編集"/>
7			<input type="button" value="編集"/>
8			<input type="button" value="編集"/>
9			<input type="button" value="編集"/>

LAN側ルーティング設定
トップページ>ネットワーク設定>LAN側ルーティング設定>エントリ編集

LAN側ルーティング設定

エントリ番号: 1

宛先IPアドレス/マスク長: /

ゲートウェイ:

(3) 変更するルーティング設定を左記の項目に入力。

(4) 『設定保存』ボタンをクリック。
(削除する場合は、『削除』ボタンをクリック)

LAN側ルーティング設定一覧

エントリ番号	宛先IPアドレス/マスク長	ゲートウェイ	
1			<input type="button" value="編集"/>
2			<input type="button" value="編集"/>
3			<input type="button" value="編集"/>
4			<input type="button" value="編集"/>

【設定変更手順】

- (1) メニューから、『ネットワーク設定』 『LAN 側ルーティング設定』の順にクリックします。
- (2) 「LAN 側ルーティング設定」画面が表示されるので、変更したいエントリ番号欄の『編集』ボタンをクリックします。
(設定が空いているエントリ番号を編集した場合は、ルーティングの追加となります。)
- (3) 「LAN 側ルーティング設定」の各項目に値を入力します。
- (4) 全てのパラメータを入力後、『設定保存』ボタンをクリックします。すると、対象のエントリ番号欄に設定した情報が反映されます。削除する場合は、『削除』ボタンをクリックします。

【主な設定項目】

LAN 側ルーティング設定 (エントリ番号 1 ~ 20)

設定項目	説明	初期値
宛先 IP アドレス	宛先 IP アドレスを設定する。	なし
マスク長	マスク長を設定する。 設定範囲：8 ~ 32	なし
ゲートウェイ	宛先へのゲートウェイアドレスを設定する。	なし

5.1.3. パケットフィルタ設定を変更する

本装置のパケットフィルタ設定を変更します。

NT-4e (BRIタイプ)

— MENU — 操作ヘルプ

- トップページ
- 動作モード初期設定

構成情報設定

— ネットワーク設定

(1) 『パケットフィルタ設定』をクリック

- セキュリティ設定
- セキュリティ設定(保守用)
- **パケットフィルタ設定**
- パケットフィルタ設定(保守用)
- URLフィルタ設定
- 静的IPマスカレード設定
- 静的NAT設定
- LAN側ルーティング設定
- 高度な設定

パケットフィルタ設定

トップページ>ネットワーク設定>パケットフィルタ設定

登録を追加または登録内容を変更するには、該当する番号の[編集]ボタンをクリックしてください。

パケットフィルタ設定一覧

番号	ルールNo. (0:無効)	通信方向 送信元IPアドレス プロトコル ICMPタイプ	フィルタ種別 送信元ポート ICMPコード	セキュリティログ保存	編集
1					編集
2					編集
3					編集

(2) 『編集』ボタンをクリック

NT-4e (BRIタイプ)

— MENU — 操作ヘルプ

- トップページ
- 動作モード初期設定

構成情報設定

— ネットワーク設定

- WAN接続設定
- LAN接続設定
- ポート設定
- SPI設定
- セキュリティ設定
- セキュリティ設定(保守用)
- **パケットフィルタ設定**
- パケットフィルタ設定(保守用)
- URLフィルタ設定
- 静的IPマスカレード設定
- 静的NAT設定
- LAN側ルーティング設定
- 高度な設定

+ SIP共通設定

+ SIPインタワーク設定

- VoIP設定

+ 端末側インタフェース設定

+ 電話番号設定

+ 保守設定

装置情報表示

- 装置状態表示
- UPnP状態表示
- LAN側自動払い出し状況
- ログ表示

パケットフィルタ設定

トップページ>ネットワーク設定>パケットフィルタ設定>エントリ編集

戻る

パケットフィルタ設定

エントリ番号: 1

ルールNo. (0:無効): 0

通信方向: WAN→LAN

フィルタ種別: 拒否

TCPフラグ: 指定しない

送信元IPアドレス(開始IP - 終了IP): * ~ *

宛先IPアドレス(開始IP - 終了IP): * ~ *

プロトコル: *

送信元ポート(開始ポート - 終了ポート): *

宛先ポート(開始ポート - 終了ポート): *

ICMPタイプ: *

ICMPコード: *

セキュリティログ保存: 保存する

(3) 登録するフィルタ設定を左記項目に入力。

設定保存 **元に戻す**

**(4) 『設定保存』ボタンをクリック。
(削除する場合は、『削除』ボタンをクリック)**

番号	ルールNo. (0:無効)	通信方向 送信元IPアドレス プロトコル ICMPタイプ	フィルタ種別 送信元ポート ICMPコード	TCPフラグ 宛先IPアドレス 宛先ポート セキュリティログ保存	編集
1					編集

【設定変更手順】

- (1) メニューから、『ネットワーク設定』 『パケットフィルタ設定』の順にクリックします。
- (2) 「パケットフィルタ設定」画面が表示されるので、変更したいエントリ番号欄の『編集』ボタンをクリックします。
(設定が空いているエントリ番号を編集した場合は、フィルタの追加となります。)
- (3) 「パケットフィルタ設定」の各項目に値を入力します。
- (4) 全てのパラメータを入力後、『設定保存』ボタンをクリックします。すると、対象のエントリ番号欄に設定した情報が反映されます。削除する場合は、『削除』ボタンをクリックします。

【主な設定項目】

パケットフィルタ設定 (エントリ番号 1 ~ 128)

設定項目	説明	初期値
ルール No.	パケットフィルタ設定エントリの優先順位を数値で設定する。 値が小さいほど優先順位が高くなる。 [0]を入力すると、そのエントリは無効になる。 同一の数値を複数エントリに設定することはできない。([0]は除く) 設定範囲 : 0 ~ 999	0
通信方向	処理したいパケットの方向を選択する。 [両方向] 両方向のパケットを処理する。 [LAN WAN] LAN から WAN 方向のパケットを処理する。 [WAN LAN] WAN から LAN 方向のパケットを処理する。	WAN LAN
フィルタ種別	フィルタリング条件に適合したパケットの処理方法を選択する。 [許可] フィルタリング条件に適合したパケットは中継される。 [拒否] フィルタリング条件に適合したパケットは破棄される。	拒否
TCP フラグ	フィルタリング条件として、TCP フラグの種類を選択する。 「プロトコル」で[TCP]以外を指定した場合は、「TCP フラグ」の設定は無視される。 [指定しない] フラグを指定しない。 [SYN] コネクション確立要求時のフラグを指定する。 [ESTABLISHED] コネクション確立後のフラグを指定する。	指定しない

設定項目	説明	初期値
送信元 IP アドレス (開始 IP - 終了 IP)	フィルタリング条件として、送信元 IP アドレスの範囲を入力する。 全ての送信元 IP アドレスを対象にする場合は、開始 IP/終了 IP に [*]を入力する。 単一の IP アドレスを指定する場合は開始 IP/終了 IP に同じ IP アドレスを入力する。 設定範囲：* / IPv4 アドレス形式	*
宛先 IP アドレス (開始 IP - 終了 IP)	フィルタリング条件として、宛先 IP アドレスの範囲を入力する。 全ての宛先 IP アドレスを対象にする場合は、開始 IP/終了 IP に [*]を入力する。 単一の IP アドレスを指定する場合は開始 IP/終了 IP に同じ IP アドレスを入力する。 設定範囲：* / IPv4 アドレス形式	*
プロトコル	フィルタリング条件として、プロトコルの番号、または予約済みの名前を入力する。 全てのプロトコルを対象にする場合は[*]を入力する。 予約済みの名前として、[TCP][UDP][ICMP][TCP UDP]が用意されている。 設定範囲：* / 予約名 / 1～255	*
送信元ポート (開始ポート - 終了ポート)	フィルタリング条件として、ポートの番号、または予約済みの名前を入力する。 全てのポート番号を対象にする場合は[*]を入力する。 予約済みの名前として、以下が用意されている。	*
宛先ポート (開始ポート - 終了ポート)	[ftp][ftpdata][telnet][smtp][domain][www] [pop3][sunrpc][nntp][ntp][login][route][pptp] ポート番号を範囲指定する場合は、最小値と最大値を[-] (半角ハイフン) でつないで入力する。 設定範囲：* / 予約名 / 1～65535	
ICMP タイプ	フィルタリング条件として、ICMP タイプを入力する。 「プロトコル」が[ICMP]のときに有効となる。 全ての ICMP タイプを対象にする場合は[*]を入力する。 設定範囲：* / 0～255	*
ICMP コード	フィルタリング条件として、ICMP コードを入力する。 「プロトコル」が[ICMP]のときに有効となる。 全ての ICMP コードを対象にする場合は[*]を入力する。 「ICMP タイプ」が[*]の場合、[*]以外設定できない。 設定範囲：* / 0～255	*

設定がない場合 (初期状態)、全てのパケットを中継する。

5.1.4. 静的 NAT (IP マスカレード) 設定を変更する

本装置の静的 IP マスカレード設定を変更します。

NT-4e (BRIタイプ)

— MENU — 操作ヘルプ

- トップページ
- 動作モード初期設定

構成情報設定

- ネットワーク設定
 - WAN接続設定
 - LAN接続設定
 - ポート設定
 - 静的IPマスカレード設定
 - 静的NAT設定
 - LAN側ルーティング設定
 - 高度な設定

(1) 『静的 IP マスカレード設定』をクリック

静的IPマスカレード設定

トップページ>ネットワーク設定>静的IPマスカレード設定

NAPTテーブルの静的登録ができます。IPアドレスの変換に加えて、ポート番号を固定的に変換する場合に使用します。登録を追加または登録内容を変更するには、該当する番号の[編集]を押してください。

(2) 『編集』ボタンをクリック

番号	優先順位	宛先IPアドレス 宛先ポート	変換対象プロトコル 変換対象ポート	編集
1				編集
2				編集
3				編集
4				編集
5				編集
6				編集
7				編集

静的IPマスカレード設定

トップページ>ネットワーク設定>静的IPマスカレード設定>エントリ編集

戻る

静的IPマスカレード設定

エントリ番号 1

優先順位

宛先IPアドレス

変換対象プロトコル TCP

宛先ポート

変換対象ポート

(3) 登録する静的 IP マスカレード設定を左記項目に入力。

設定保存 元に戻す

(4) 『設定保存』ボタンをクリック。
(削除する場合は、『削除』ボタンをクリック)

番号	優先順位	宛先IPアドレス 宛先ポート	変換対象プロトコル 変換対象ポート	編集
1				編集

【設定変更手順】

- (1) メニューから、『ネットワーク設定』 『静的 IP マスカレード設定』の順にクリックします。
- (2) 「静的 IP マスカレード設定」画面が表示されるので、変更したいエントリ番号欄の『編集』ボタンをクリックします。
(設定が空いているエントリ番号を編集した場合は、静的 IP マスカレード設定の追加となります。)
- (3) 「静的 IP マスカレード設定」の各項目に値を入力します。
- (4) 全てのパラメータを入力後、『設定保存』ボタンをクリックします。すると、対象のエントリ番号欄に設定した情報が反映されます。削除する場合は、『削除』ボタンをクリックします。

【主な設定項目】

静的 IP マスカレード設定（エントリー番号 1～50）

設定項目	説明	初期値
優先順位	静的 IP マスカレード設定エントリーの優先順位を数値で設定する。 値が小さいほど優先順位が高くなり、最初に合致したエントリーで動作する。 [0]を入力すると、そのエントリーは無効になる。 同一の数値を複数エントリーに設定することはできない。 設定範囲：0～99	なし
宛先 IP アドレス	LAN 側端末の IP アドレスを指定する。 WAN 側に公開したいアプリケーションが実行されている端末を指定する。	なし
変換対象 プロトコル	WAN 側に公開したいアプリケーションが使用するプロトコルを選択する。 [TCP] アプリケーションが使用するプロトコルとして TCP を選択する。 [UDP] アプリケーションが使用するプロトコルとして UDP を選択する。 [TCP と UDP 両方] アプリケーションが使用するプロトコルとして TCP と UDP の両方を選択する。	TCP
宛先ポート	WAN 側に公開したいアプリケーションが LAN 側端末上で使用する TCP/UDP ポート番号、または予約済みの名前を入力する。 予約済みの名前としては、以下が用意されている。 [ftp][ftpdata][telnet][smtp][domain][www] [pop3][sunrpc][nntp][ntp][login][route][pptp] 設定範囲：予約名 / 1～65535	なし
変換対象ポート	WAN 側に公開したいアプリケーションが使用する TCP/UDP のポート番号、または予約済みの名前を入力する。 WAN 側からはこのポート番号を指定して、LAN 側端末上で実行中のアプリケーションにアクセスすることができる。 予約済みの名前としては、以下が用意されている。 [ftp][ftpdata][telnet][smtp][domain][www] [pop3][sunrpc][nntp][ntp][login][route][pptp] 設定範囲：予約名 / 1～65535	なし

5.2 . 装置の設定変更例 (電話関連)

5.2.1. ポートの使用状態を変更する

BRI ポートの使用、未使用を変更します。

NT-4e (BRIタイプ)

— MENU — 操作ヘルプ

- トップページ
- 動作モード初期設定

構成情報設定

- + ネットワーク設定
- + SIP共通設定
- + SIPインタワーク設定
- VoIP設定
- **端末側インタフェース設定**
- **BRI**
- + 電話番号設定
- + 保守設定

装置情報

- (1) 『端末インタフェース設定』 『BRI』をクリック
- 統計情報
- 番号計画情報
- SIPメッセージ情報表示

メンテナンス

- + 通信操作
- 疎通確認(PING)
- + メンテナンス

+ 電話番号設定

+ 保守設定

装置情報表示

- 装置状態表示
- UPnP状態表示
- LAN側自動払い出し状況
- ログ表示
- 統計情報
- 番号計画情報
- SIPメッセージ情報表示

メンテナンス

- + 通信操作
- 疎通確認(PING)
- + メンテナンス

BRI

トップページ>端末側インタフェース設定>BRI

項目名の末尾に(再)の付いた項目を変更した場合、変更内容を有効にするには

共通設定

全閉塞時リンク断(再)	<input checked="" type="checkbox"/> リンク断する
クロック従属不可状態での端末インタフェース閉塞(再)	<input type="checkbox"/> 閉塞する
レイヤ2フレーム最大再送回数(N200)(再)	3
RNR受信におけるN200トライオーバー発生時の動作(再)	DISC送出

ポート設定

	ポート1	ポート2
ポート番号	ポート1	ポート2
ポート(再)	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
着信優先コーデック	なし	なし
接続形態(再)	<input checked="" type="radio"/> 呼制御 <input type="radio"/> ホットライン <input type="radio"/> 呼制御+ホットライン	<input checked="" type="radio"/> 呼制御 <input type="radio"/> ホットライン <input type="radio"/> 呼制御+ホットライン
レイヤ1接続状態とレイヤ2起動方式(再)	ポイント-マルチポイント/常時接続	ポイント-マルチポイント/常時接続
ISDNチャンネル選択方式(再)	チャンネル番号通知	チャンネル番号通知
ルート(再)	0	0
i-ナンバー設定	<input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない	<input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない
i-ナンバー1	<input type="text"/>	<input type="text"/>
i-ナンバー2	<input type="text"/>	<input type="text"/>
i-ナンバー3	<input type="text"/>	<input type="text"/>
ナンバーディスプレイ	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
非通知理由マッピング	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する

(2) 『ポート』の『使用する』のチェックを変更する。
チェック有 ……使用
チェックなし ……未使用

チャンネル設定

	ポート1	チャンネル1	チャンネル2	ポート2	チャンネル1	チャンネル2
ポート番号	ポート1	チャンネル1	チャンネル2	ポート2	チャンネル1	チャンネル2
チャンネル番号	チャンネル1	チャンネル2		チャンネル1	チャンネル2	
チャンネル(再)	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する		<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	
送信レベル(dBr)	0	0		0	0	
受信レベル(dBr)	0	0		0	0	
最小ゆらぎ吸収時間(ms)	40	40		40	40	
DTMF送出レベル(dBm0)	-8	-8		-8	-8	
DTMF転送方式(再)	みなし音声	みなし音声		みなし音声	みなし音声	
エコークャンセラ	有効 NLP弱	有効 NLP弱		有効 NLP弱	有効 NLP弱	
FAX検出時動作						
CED検出時間(ms)						なし <input checked="" type="radio"/> ToneDisabler
CED検出レベル(dBm0)						180
データ通信時の最小ジッタ値						-34
データ通信時の最大ジッタ値						140
一括設定						400

下にスクロール

(3) 『クロックポート設定』の『使用する』のチェックを変更する。
チェック有 ……使用
チェックなし ……未使用

クロックポート設定

ポート(再)

レイヤ1接続状態とレイヤ2起動方式(再)

(4) 『設定保存』ボタンをクリック

15

【設定変更手順】

- (1) メニューから、『端末インターフェース設定』 『BRI』の順にクリックします。
- (2) 「端末インターフェース設定」画面が表示されるので、「ポート設定」にて、変更したい「ポート」のチェックを変更します。
(チェック有…使用、チェックなし…未使用)
- (3) クロックポートの状態を変更する場合は、「クロックポート設定」のチェックを変更します。
- (4) 全ての変更内容を設定後、『設定保存』ボタンをクリックします。
- (5) 変更内容を反映させるため、本装置を再起動させます。(再起動の操作は、p21『6. 装置の再起動』参照)

【主な設定項目】

ポート設定 (ポート 1 ~ 2)

設定項目	説明	備考
ポート	使用するポートを選択する。	

クロックポート設定

設定項目	説明	備考
ポート	クロックポートを使用するかを選択する。	
レイヤ 1 接続状態 とレイヤ 2 起動方 式	レイヤ 1 接続状態とレイヤ 2 起動方式を選択する。 [ポイント-ポイント / 常時接続] [ポイント-マルチポイント / 常時接続]	

5.2.2. 発信者番号表示機能（ナンバーディスプレイ）を使用する

BRI ポート毎に発信者番号表示（ナンバーディスプレイ）の使用、未使用を変更します。

NT-4e (BRIタイプ)

— MENU — 操作ヘルプ

- トップページ
- 動作モード初期設定

構成情報設定

- + ネットワーク設定
- + SIP共通設定
- + SIPインタワーク設定
- VoIP設定
- **端末側インタフェース設定**
- **BRI**
- + 電話番号設定
- + 保守設定

装置情報

- (1) 『端末インタフェース設定』 『BRI』をクリック
- 統計情報
- 番号計画情報
- SIPメッセージ情報表示

メンテナンス

- + 通信操作
- 疎通確認(PING)
- + メンテナンス

- + 電話番号設定
- + 保守設定

装置情報表示

- 装置状態表示
- UPnP状態表示
- LAN側自動払い出し状況
- ログ表示
- 統計情報
- 番号計画情報
- SIPメッセージ情報表示

メンテナンス

- + 通信操作
- 疎通確認(PING)
- + メンテナンス

BRI

トップページ>端末側インタフェース設定>BRI

項目名の末尾に(再)の付いた項目を変更した場合、変更内容を有効にするには再起動が必要になります。

共通設定

全閉塞時リンク断(再)	<input checked="" type="checkbox"/> リンク断する
クロック従属不可状態での端末インタフェース閉塞(再)	<input type="checkbox"/> 閉塞する
レイヤ2フレーム最大再送回数(N200)(再)	3
RNR受信におけるN200トライオーバー発生時の動作(再)	DISC送出

ポート設定

	ポート1	ポート2
ポート番号		
ポート(再)	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
着信優先コーデック	なし	なし
接続形態(再)	<input checked="" type="radio"/> 呼制御 <input type="radio"/> ホットライン <input type="radio"/> 呼制御+ホットライン	<input checked="" type="radio"/> 呼制御
レイヤ1接続状態とレイヤ2起動方式(再)	ポイント-マルチポイント/常時接続	
ISDNチャンネル選択方式(再)	チャンネル番号通知	
ルート(再)	0	
i-ナンバー設定	<input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない	
i-ナンバー1	<input type="text"/>	
i-ナンバー2	<input type="text"/>	
i-ナンバー3	<input type="text"/>	
ナンバーディスプレイ	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
非通知理由マッピング	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する

チャンネル設定

	ポート1	チャンネル2	ポート2	チャンネル2
ポート番号	チャンネル1	チャンネル2	チャンネル1	チャンネル2
チャンネル番号				
チャンネル(再)	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
送信レベル(dBr)	0	0	0	0
受信レベル(dBr)	0	0	0	0
最小ゆらぎ吸収時間(ms)	40	40	40	40
DTMF送出レベル(dBm0)	-8	-8	-8	-8
DTMF転送方式(再)	みなし音声	みなし音声	みなし音声	みなし音声
エコークャンセラ	有効 NLP弱	有効 NLP弱	有効 NLP弱	有効 NLP弱
FAX検出時動作	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> ToneDisabler	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> ToneDisabler	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> ToneDisabler	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> ToneDisabler
CED検出時間(ms)	180	180	180	180
CED検出レベル(dBm0)	-34	-34	-34	-34
データ通信時の最小ジッタ値(ms)	140	140	140	140
データ通信時の最大ジッタ値(ms)	400	400	400	400
一括設定	他チャンネルに反映		他チャンネルに反映	

クロックポート設定

ポート(再)
 使用する || レイヤ1接続状態とレイヤ2起動方式(再) | ポイント-マルチポイント/常時接続 |

下にスクロール

設定保存
元に戻す

(3) 『設定保存』ボタンをクリック

【設定変更手順】

- (1) メニューから、『端末インターフェース設定』 『BRI』の順にクリックします。
- (2) 「端末インターフェース設定」画面が表示されるので、「ポート設定」にて、変更したい BRI ポートの「ナンバーディスプレイ」のチェックを変更します。
(チェックあり…使用、チェックなし…未使用)
- (3) 全ての変更内容を設定後、『設定保存』ボタンをクリックします。

【主な設定項目】

ポート設定 (ポート 1 ~ 2)

設定項目	説明	備考
ナンバーディスプレイ	ナンバーディスプレイの使用 / 未使用を変更する。	

5.2.3. 着信ポートを変更する

電話番号毎に着信させるポートを変更します。

NT-4e (BRIタイプ)

— MENU — 操作ヘルプ

- トップページ
- 動作モード初期設定

構成情報設定

- + ネットワーク設定
- + SIP共通設定
- + SIPインタワーク設定
- VoIP設定
- + 端末側インタフェース設定
- 電話番号設定
- ユーザ個別情報
 - 番号計画
 - **着信ポート分け**
 - 発信番号編集(発信用)
 - 発信番号編集(着信用)

+ 装

- (1) 『着信ポート分け』をクリック
- UPnP状態表示
- LAN側自動払い出し状況
- ログ表示
- 統計情報
- 番号計画情報
- SIPメッセージ情報表示

メンテナンス

- + 通信操作
- 疎通確認(PING)
- + メンテナンス

着信ポート分け

トップページ>電話番号設定>着信ポート分け

通話中に『設定保存』ボタンをクリックして設定変更を行った場合、通話が切斷されることがあります。

■ 着信 (4) 『設定保存』ボタンをクリック

■ 着信 (2) 「着信方式」および「着信ポート」を設定。
(『着信設定』に登録のない番号への着信は、本項目の内容が使用される。)

着信設定一覧以外の着信許可

着信方式	ラウンドロビン(巡回)			
着番号編集	着番号先頭 削除桁数	0		
	追加番号			
着信ポート選択	親	子1	子2	子3
	<input checked="" type="checkbox"/> 1	<input checked="" type="checkbox"/> 2		

着信設定 表示範囲: 1~50 表示変更

番号	設定項目
1	電話番号 着信方式: ラウンドロビン(巡回) 着番号編集: 着番号先頭削除桁数: 0, 追加番号: 着信ポート選択: 親, 子1, 子2, 子3 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2
2	電話番号 着信方式: ラウンドロビン(巡回) 着番号編集: 着番号先頭削除桁数: 0, 追加番号: 着信ポート選択: 親, 子1, 子2, 子3 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2

(3) 『着信設定』の各項目に電話番号毎の着信方式および着信ポートを設定。
(番号毎に着信方法を変える場合に設定)

19

【設定変更手順】

- (1) メニューから、『電話番号設定』『着信ポート分け』の順にクリックします。
- (2) 「着信ポート分け」画面が表示されるので、「着信設定一覧以外の着信許可」にて、「着信方式」および「着信ポート」を設定します。「着信設定」に登録のない番号への着信は、本項目の内容が使用されます。
- (3) 電話番号毎に着信方法を変える場合は、「着信設定」にて、各項目に電話番号毎の着信方式および着信ポートを設定します。
- (4) 全ての変更内容を設定後、『設定保存』ボタンをクリックします。

【主な設定項目】

着信設定以外の着信許可

設定項目	説明	備考
着信方式	外からの着信時の着信方式を選択する。 [ラウンドロビン(巡回)] 前回で通話または呼出となった次のポートへ着信する。 [シーケンシャル] 常に若番のポートから着信する。	
着信ポート選択	親機および子機のポートへ着信する/しないを選択する。	

着信設定(1~500)

設定項目	説明	備考
電話番号	本設定を使用する電話番号を設定する。	
着信方式	外からの着信時の着信方式を選択する。 [ラウンドロビン(巡回)] 前回で通話または呼出となった次のポートへ着信する。 [シーケンシャル] 常に若番のポートから着信する。	
着信ポート選択	親機および子機のポートへ着信する/しないを選択する。	

5.2.4. 音声レベルを調整する

本装置を通過する通話の音声レベルを変更します。

NT-4e (BRIタイプ)

MENU 操作ヘルプ

- トップページ
- 動作モード初期設定

構成情報設定

- ネットワーク設定
- SIP共通設定
- SIPネットワーク設定
- VoIP設定
- 端末側インタフェース設定
- BRI**
- 電話番号設定
- IP

(1) 『端末インタフェース設定』 『BRI』をクリック

- LAN側自動払い出し状況
- ログ表示
- 統計情報
- 番号計画情報
- SIPメッセージ情報表示

メンテナンス

- 通信操作
- 疎通確認(PING)
- メンテナンス

宛先アドレス1

宛先アドレス2

宛先アドレス3

宛先アドレス6

宛先アドレス7

宛先アドレス8

番号計画開始テーブル番号 1

一括設定 他ポートに反映

※ ホットラインで宛先アドレスを使用した発信を行う場合には、【オプション設定】の【破棄する】のチェックマークを外してください。

チャンネル設定

ポート番号	ポート1	チャンネル1	チャンネル2	チャンネル2
チャンネル番号	チャンネル1	チャンネル2	チャンネル2	チャンネル2
チャンネル(再)	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
送信レベル(dBr)	0	0	0	0
受信レベル(dBr)	0	0	0	0
最小ゆらぎ吸収時間(ms)	40	40	40	40
DTMF送出レベル(dBm0)	-8	-8	-8	-8
DTMF転送方式(再)	みなし音声	みなし音声	みなし音声	みなし音声
エコーキャンセラ	有効 NLP弱	有効 NLP弱	有効 NLP弱	有効 NLP弱
FAX検出時動作	<input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> なし
	<input checked="" type="radio"/> ToneDisabler	<input checked="" type="radio"/> ToneDisabler	<input checked="" type="radio"/> ToneDisabler	<input checked="" type="radio"/> ToneDisabler
CED検出時間(ms)	180	180	180	180
CED検出レベル(dBm0)	-34	-34	-34	-34
データ通信時の最小ジッタ値(ms)	140	140	140	140
データ通信時の最大ジッタ値(ms)	400	400	400	400
一括設定	他チャンネルに反映	他チャンネルに反映	他チャンネルに反映	他チャンネルに反映

クロックポート設定

ポート(再) 使用する

レイヤ1接続状態とレイ

(2) 『チャンネル設定』の『送信レベル』『受信レベル』の値を変更して音声レベルを調整。チャンネル毎に設定する。

(3) 『設定保存』ボタンをクリック

【設定変更手順】

- (1) メニューから、『端末インタフェース設定』 『BRI』の順にクリックします。
- (2) 「端末インタフェース設定」画面が表示されるので、「チャンネル設定」にて、音声レベルを変更したいチャンネルの「送信レベル」および「受信レベル」の値を変更します。
- (3) 全ての変更内容を設定後、『設定保存』ボタンをクリックします。

【主な設定項目】

チャンネル設定 (ポート1~2/チャンネル1~2)

設定項目	説明	初期値
送信レベル (dBr)	『本装置 電話装置』方向への音声レベルを変更する。	0
受信レベル (dBr)	『電話装置 本装置』方向への音声レベルを変更する。	0

6. 装置の再起動

装置設定を反映させるために、装置の再起動を実施します。再起動が必要な項目を変更した際は、変更内容を反映させるため、必ず実施してください。

また、各種設定内容の変更が全て終了してから再起動してください。

NT-4e (BRIタイプ)

操作ヘルプ

MENU

- トップページ
- 動作モード初期設定

構成情報設定

- + ネットワーク設定
- + SIP共通設定
- + SIPインターネット設定
- VoIP設定
- + 端末側インタフェース設定
- + 電話番号設定
- + 保守設定

装置情報表示

- 装置状態表示
- UPnP状態表示
- LAN側自動払い出し状況
- ログ表示
- 統計情報
- 番号計画情報
- SIPメッセージ情報表示

メンテナンス

- + 通信操作
- 疎通確認(PING)
- メンテナンス
 - ログインパスワード変更
 - 手動時刻設定
 - 手動ファームウェア更新
 - 対向端末へのログの送信
 - ログのエキスポート
 - 装置設定の初期化
 - 装置再起動

注意事項

再起動により、通話およびデータ通信接続は切断となります。

【操作手順】

- (1) メニューから、『メンテナンス』『装置再起動』の順にクリックします。
- (2) 「装置再起動」画面が表示されるので、『装置の再起動』欄の「実行」ボタンをクリックします。

再起動により、通話およびデータ通信接続は切断となります。

LAN側IPアドレスを変更した場合は、再起動後の画面が表示されない可能性があります。変更したIPアドレスに合わせてパソコン側のIPアドレスも変更をお願いします。(DHCPを利用している場合は、ケーブル抜差しあるいはPC再起動などでIPアドレス再取得をお願いします。)

7. 装置設定の保守

7.1. 装置設定のバックアップ

装置設定のバックアップを行ないます。バックアップは設定ファイルとして出力されますので、大切に保管ください。

NT-4e (BRIタイプ)

— MENU — 操作ヘルプ

- トップページ
- 動作モード初期設定

構成情報設定

- + ネットワーク設定
- + SIP共通設定
- + SIPインタワーク設定
- VoIP設定
- + 端末側インタフェース設定
- + 電話番号設定
- + 保守設定

装置情報表示

- 装置状態表示
- UPnP状態表示
- LAN側自動払い出し状況
- ログ表示
- 統計情報
- 番号計画情報
- SIPメッセージ情報表示

メンテナンス

- + 通信操作
- 疎通確認(PING)
- メンテナンス
 - ログインパスワード
 - 手動時刻設定
 - 手動ファームウェア更新
 - 対向端末への保守検索
 - ログのエクスポート
 - **装置設定の保存/復元**
 - 装置設定の初期化
 - 装置再起動

装置設定の保存/復元

トップページ>メンテナンス>装置設定の保存/復元

装置設定値の保存と復元ができます。
復元を行うと現在の設定は破棄されます。
構成情報ファイルのファイル名とディレクトリ名には、全角文字及び半角カナが

装置設定の保存

- ユーザ用構成情報ファイルをPCに保存
- 保守者専用構成情報ファイルをPCに保存
- 全構成情報ファイルをPCに保存

装置設定の復元

- 復元する構成情報ファイルを選択
- 復元後再起動時のREGISTER削除 削除する
- 選択中の構成情報ファイルをもとに復元

(1) 『装置設定の保存/復元』を
クリック

(2) 『全構成情報ファイルを PC に
保存』欄の『保存』ボタンをクリック

【操作手順】

- (1) メニューから、『メンテナンス』 『装置設定の保存/復元』の順にクリックします。
- (2) 「装置設定の保存/復元」画面が表示されるので、『全構成情報ファイルを PC に保存』欄の『保存』ボタンをクリックします。
- (3) ファイルのダウンロードが開始されますので、保存ファイル名等を任意に変更して保存します。

7.2 . 装置設定のリストア

装置設定のリストア（復元）を行ないます。リストアに使用するファイルは、必ず本装置でバックアップしたファイルを使用してください。

The screenshot shows the web interface for the NT-4e (BRI Type) device. The left sidebar contains a menu with categories: MENU, 構成情報設定, 装置情報表示, and メンテナンス. The 'メンテナンス' category is expanded, showing options like 'ログインパスワード', '手動時刻設定', '手動ファームウェア更新', '対向端末への保存', 'ログのクリア', '装置設定の保存/復元', '装置設定の初期化', and '装置再起動'. The '装置設定の保存/復元' option is highlighted with a red dashed box and labeled (1). The main content area is titled '装置設定の保存/復元' and contains a warning message, a '装置設定の保存' section with three '保存' buttons, and a '装置設定の復元' section with a file selection field, a '参照...' button, a '削除する' button, and a '復元' button. The '参照...' button is highlighted with a red dashed box and labeled (2). The '復元' button is highlighted with a red dashed box and labeled (3).

【操作手順】

- (1) メニューから、『メンテナンス』 『装置設定の保存 / 復元』の順にクリックします。
- (2) 「装置設定の保存 / 復元」画面が表示されるので、『復元する構成情報ファイルを選択』欄の「参照」ボタンをクリックします。ファイル選択ダイアログが表示されますので、リストアする設定ファイルを選択します。
- (3) 『選択中の構成情報ファイルをもとに復元』欄の「復元」ボタンをクリックします。

リストアの際は必ず本装置の再起動が実行されます。